



# 神宮寺便り



世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るい、死者も出ています。こういう時こそ、日常生活を大切にすることが肝要と思います。適度な睡眠と良質な食事などを中心とした規則正しい生活を過ごす事で、高免疫力を維持する事が可能です。そして、疲れたら休みましょう。おススメは昼寝です。十五分程度が良いそうです。

## 今と昔の考え方

良啓

仕事柄、しきたりや習慣（具体的には位牌の継承や法事についてです。）についてよく質問されます。答える時、必ずと言って良い程、この様に説明します。

「今と昔で、価値観や生活環境が大きく変化しているのです、どちらの考え方に重きを置くのかで、答えが変わります。」  
例えば、墓建立の時期。

**質問** 「七回忌までは墓を建てる事はダメですか？」

**回答** 「土葬の時代は、一年位では遺体が白骨化していないので、遺骨の移動が不可能です。しかし、火葬になり、

直ぐに移動可能になったので、墓建立もすぐ可能です。」

この様に、しきたりはその時代の生活環境に大きく依存しています。火葬時代の現代人が土葬時代のしきたりに従うのはナンセンスです。しきたりを考える時、鵜呑みにせず「なぜ？」と考慮する必要があります。分からない事は恥ずかしいと考えがちですが、意味も分からず進めてしまうと、無駄が多い結果になる事があります。そう言う事にならない為に、僧侶や物知りに質問してください。私を含め、その様な質問をされて嫌な顔をするお坊さんはいませんので、ご安心を。



## その名は、ガツちゃん

寺務員 三原

ゆるキャラ、そう呼ぶべきか否か。神宮寺にもそれらしき存在があります。その名は『ガツちゃん』。



いつの頃からか神宮寺境内、おもに三本の福木のまわりに出没し、お経が聞こえてくると嬉しそうに体をゆすっています。

一見、斬新なヘアスタイルの変わった子供に見えますが、住職・良啓さんの見解によると、

「あの頭は仏様に手を合わせた時の合掌（がっしょう）の形によく似ている。色彩も蓮の花のようだし、きつと御本尊の聖観音菩薩様と何かつながりがあるに違いない」

とのことで、それ以来、皆から『ガツちゃん』と呼ばれ、親しまれるようになりました。

可愛らしい容姿のガツちゃんですが、気性は明王の様に激しく、時折すばしこい動きで、落下する福木の実と闘っています。黄色い実が、急に落ちてくるのが怖いようです。

福木の花の甘い香りとハート型の葉っぱが大好きなガツちゃんは、お掃除中の寺務員さんの後ろをついてまわっては、気に入ったお花や葉っぱを拾い集めています。

そんなガツちゃんの願いは、お参りに来る皆さんに神宮寺の事をたくさん知ってもらうこと。心静かにくつろいでいただくこと。落ちてくる福木の実が皆さんの頭に命中しないこと。

今日もきつと、境内のどこかで皆さんを見守っていることでしょう。

